

## 2019年度(平成31年度) 三重県立高校後期選抜 分析と評価

eisu 教科分析チームの責任で作成された、各教科及び五教科全体に対する分析と評価です。入試問題の研究・学習の参考資料になるよう作成されました。叙述の客観性を保証するものではありませんので、ご理解ください。(2019年3月11日作成)

国語	<b>難易度</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 例年並み</li> <li>■ 大問の難易度 [1]普通 [2]普通 [3]普通 [4]やや難 [5]普通 [6]普通</li> </ul>
	<b>eisu 国語科チームによる分析と評価</b>
	<p>今年度は全ての記述問題に字数制限がかけられており、受験生はプレッシャーを感じたはず。大問5に文字数の多い資料が複数提示されるなど、丁寧かつ高速な文章読解力が求められる。豊富な文字量から条件に合う情報を取捨選択する判断力、制限ある字数で情報を論理的にまとめる記述力も重視されている。</p>
数学	<b>難易度</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 例年並み、一部難問が含まれる</li> <li>■ 大問の難易度 [1]普通 [2]普通 [3]やや難 [4]普通 [5]やや難</li> </ul>
	<b>eisu 数学科チームによる分析と評価</b>
	<p>過去問題の類題が多数出題されており、過去問対策にしっかり取り組んだ生徒は有利。大問ごとにある高難度問題 [大問 1(7)/大問 3(3)(4)/大問 4(2)③]の攻略が難関校突破のカギとなる。大問5 最終問題(3)は例年通り高難度。設問ごとの極端な難度の差は均されて、ほどよい難度の問題が多数出題された。努力の差が点数の差に反映しやすい作問傾向である。</p>
社会	<b>難易度</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 例年に比べ難化、設問形式にも変化あり</li> <li>■ 大問の難易度 [1]やや難 [2]普通 [3]やや難 [4]普通 [5]普通</li> </ul>
	<b>eisu 社会科チームによる分析と評価</b>
	<p>難度は例年に比べ高く、設問形式にも変化が見られる。大問3(4)(b)を筆頭に、複数資料の正確な解釈や、計算の必要な情報の処理など、資料読解問題が難化している。海外旅行客増加の日本経済に与える影響[大問5(8)(b)]など、具体的な社会事象に迫る出題もあった。複雑な情報を抜け漏れなく一文でまとめる国語的記述力が成否のカギとなる。</p>

<b>英語</b>	<b>難易度</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 例年に比べやや難</li> <li>■ 大問の難易度 [1]やや難 [2]普通 [3]やや難 [4]普通</li> </ul>
	eisu 英語科チームによる分析と評価
	1文1文が長文化し、英文全体の情報量も増えている。高校レベルの単語や熟語も含まれ、読解に高い語彙力が求められる。全般にわたって情報の正確かつ高速な処理能力が必要となっている。

<b>理科</b>	<b>難易度</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 例年並み</li> <li>■ 大問の難易度</li> </ul>
	[1]易 [2]やや難 [3]普通 [4]やや易 [5]普通 [6]やや難 [7]やや難 [8]やや難
	eisu 理科科チームによる分析と評価
問題総数は44問と過去10年間で最大になっている。速く手際良い処理が成否を分ける。記述問題は減少、しかし選択肢文が長文化しており、とにかく文章の正確な読解力が試される。出題の条件を読み取り、注意深く対応しないと誤る設問が目立ち、理科もまた国語的読解力がないと高得点は難しい。	

<b>全体</b>	eisu 教科部チームによる分析と評価
	<p>情報量の多い文章・資料から、必要な情報を取捨選択し、短時間で論理的に記述する、つまり「思考力・判断力・表現力」が重視されるという傾向がすっかり定着した。</p> <p>特に記述力の重要性が全教科において目立っており、ハイレベルな「国語力」の育成がどの教科においても有益である。</p> <p>全体的には標準的な難易度が維持されているが、そのなかに極めて難度の高い問題が散在しており、それが難関校突破のカギになっている。難関校上位合格を目指すなら、難問攻略力が必須である。</p>

**注意：このデータを紙などに印刷したり、それを配布したりする行為はご遠慮ください。**